

# NAGASAKI



## 看護連盟だより

2020  
新春

謹



衆議院議員 あべ俊子



参議院議員 たかがい恵美子

賀

新



参議院議員 石田まさひろ



衆議院議員 木村やよい

年

### 目次

|                           |   |                            |    |
|---------------------------|---|----------------------------|----|
| 会長あいさつ……………               | 2 | 令和元年度第2回病棟リーダー・施設連絡員研修会 …… | 7  |
| 名誉会長あいさつ……………             | 3 | 九州ブロック看護管理者等政策セミナー報告…      | 7  |
| 日本看護連盟会長あいさつ……………         | 4 | 青年部だより……………                | 8  |
| あべ俊子・木村やよい衆議院議員あいさつ…      | 4 | 施設紹介（小江原中央病院）……………         | 9  |
| たかがい恵美子・石田まさひろ参議院議員あいさつ…  | 5 | 石田議員来崎・県別会議……………           | 10 |
| 令和元年度長崎県看護連盟フォローアップ研修会 …… | 6 | 連盟会員募集・研修案内・編集後記…………       | 10 |
| 令和元年度長崎県県政・長崎市市政報告会 ……    | 6 |                            |    |



# ごあいさつ



長崎県看護連盟 会長 久米 春代

新年明けましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また、旧年中は、看護連盟活動に多大なるご尽力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

昨年7月の第25回参議院選挙に於いて、皆さまのご協力とご支援のおかげで石田まさひろも二期目の当選ができてまして本当にありがとうございました。昨年末の臨時国会におきまして、厚生労働委員会筆頭理事として、4つの法案を可決されました。特に母子保健法には、新たな産後ケア事業を組み込まれました。出産し自宅に戻った直後のケアの充実はとても重要です。助産師はじめ看護師の活躍が期待されます。

また、今年通常総会におきまして、第26回参議院選挙候補予定者が決まると思います。私たち看護職者の役割は2040年に向けた社会保障制度改革・生涯働き続けられる法律をつくることをめざし会員一人ひとりが声を上げなければなりません。その声を次期候補者に託して看護協会・看護連盟表裏一体。看護協会会員即、看護連盟会員となったときに組織が強化され実現へ繋がると思います。

看護職が生き生きと元気に、そして今日もいい看護ができたと思える日々が送れますことを願ってます。

2005年から、15年間、心のよりどころとしてきたスローガン「ベッドサイドから政治を変える」の見直しがはじまりました。これは連盟創立60周年記念事業の一つとして会員の皆様に広く公募しまして、中央役員会にかけ通常総会でお披露目されますのでお待ち下さい。

今年は、東京でオリンピック・パラリンピックが開催される日本にとって大きな節目の年となります。「子年」にあたり、再び新しい十二支のサイクルがスタートする年でもあります。植物に例えると成長に向かって種子が膨らみ始める時期であり、未来へ大いなる可能性を感じます。また、ねずみは「ねずみ算」という言葉があるほど、子どもをどんどん産んで数を増やしていくことから「子孫繁栄」の象徴でもあります。少子化にはどめが効くことを願うばかりです。

最後になりましたが、会員の皆様の長崎県看護連盟活動に更なるお力添えをお願いしまして、新年のごあいさつといたします。本年もよろしくお願い致します。





## 年頭のごあいさつ



長崎県看護協会 長崎県看護連盟 名誉会長 山口 ミユキ

謹んで初春のお喜びを申し上げます

令和2年の元旦、皆さまにはそれぞれに新たな年をお迎えになられたことと拝察いたします。

去年は参議院議員選挙、看護界組織代表の「石田昌宏」氏を継続、当選の運びに至りましたことを同志と共に喜び合うと共に昼夜問わず、あらゆる労苦を共にした同志の「活動実践」を大きく称える次第であります。

ふりかえれば、決して満足の「票」には至りませんでした。よって、それぞれに思いを寄せていらっしゃる昨今だと存じます。その思いを次期に満たすことこそ、長崎県看護連盟会員がそれぞれに培った看護連盟の魂だと信じ、結集した会員の底力だとしみじみと伝わる私の体と、心に・・・さあ、令和の新年新天皇を中心に、祖国日本の明日に向かって、看護職者としての役割は何か？看護連盟活動は何か？何のため、誰のための組織活動か、真剣に問い明日を生き抜くために賢明な長崎県看護協会会員が即、看護連盟会員となったときこそ組織力は強化され国家、地方の財源確保が反映され、日本国が難問とする超高齢社会に、すべての人々が人間らしくその人らしく穏やかな最期を支える看取りの文化、国際社会の中の日本国民として、看護が輝くことを信じます。

さあ、次期活動に向けて、一組織強化一看護学生に伝える、幾度か重ねる言葉。

◎会員の増加・・・看護協会入会と同時に看護連盟への入会、協会・連盟会員の資格で表裏一体となった活動こそ看護協会の政策実現ができる。それぞれの立場で、それぞれが役割として後輩の育成に努めることこそ大切、日本国民に与えられた18歳の選挙権、後輩たる看護学生に、一ベッドサイドから政治を変える一、このスローガンのもとで、すべての人々に人間らしく、その人らしく、良質の看取りが提供できている現実を伝え、協働していま看護職者に大切な「働き方改革法案」が成立して必要とする看護に関する国家予算が確保できる為に組織強化の必要性を伝え、各々の理解のもとで会員の増加即、組織強化となり難問とする看護協会の政策が実現できることを同志と共に努力を重ね、令和2年、新天皇を中心に主権国家たる日本国民として看護の役割を果たすために健康で「明日を生き」ましょう。会員同志の豊かな暮しができますように心から祈念して年頭のごあいさつを申し上げます。



新時代美しく明るく「2019年 今年の漢字」令

令和元年12月13日(金) 読売新聞

令和元年12月13日記

# 新年のごあいさつ



日本看護連盟 会長 大島 敏子

謹んで新年のお慶びを申し上げます

昨年、全国各地にもたらされた台風や大雨に心を痛めた一年でした。また、第25回参議院選挙では、組織代表の石田まさひろ参議院議員が、二期目の当選を果たし力強い結果を残すことが出来ました。ひとえに皆様のお力と感謝しつつ、会員数だけの得票が得られないことに力不足を覚えております。もっともっと連盟の誕生から現在までを、如何に看護界を牽引し、また、看護職のために頑張ってきたか、会員一人ひとりが自分の言葉で「語り」「伝え」「拓げる」活動が必要でしょう。

令和を迎えた日本看護連盟は、創立60周年。還暦は、干支が一巡して、誕生年の干支に戻り、生き返ることです。

私たちの先輩看護職が時間をかけて築いてきた職能活動は、24時間365日、常にベッドサイドで病める人々と共にありました。患者さんが、自らの病を克服し自らの生活を健康に営むための知識や知恵を持ち、生き続けることのサポートを確実にしてゆきましょう。

そのためには、看護実践能力を確固たるものにし、患者さんや利用者さんだけでなく社会の人々にアピールして参りましょう。

今年は、活動のよりどころとなるスローガンを会員公募し、新たな気持ちで臨床と看護政策を結んでゆきます。

子年は、新しい生命力が創造される文字をあらわし「子孫繁栄」をもたらします。人生100年時代に看護連盟は、看護協会と共に今後とも国民の誰もが安心して暮らせる社会保障のあり方を構築するため、会員増を図り、看護職の地位向上をめざして更なる政治参加をして参りましょう。



衆議院議員 国会対策副委員長 あべ 俊子

## 「2020年 新年のごあいさつ」

お健やかに新春をお迎えのことと存じます。

長崎県看護連盟の皆さまには日頃より温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

新年の清々しい空気に、国会議員としての初心が熱く思い起こされます。昨年の自由民主党新人事では国会対策副委員長を拝命いたしました。改正法案の可決、新法案の成立に向けた与野党間の調整という重責を伴う役職でございます。診療報酬改定など、社会保障改革の節目となる年に、縦横無尽に活動できる役職を頂けたのも、貴連盟のご支援あってのことと、感謝申し上げます。

日本の医療、社会保障は大きな転換期を迎えております。看護の対象である患者とその家族の在り方と同じように、看護職自体の働き方についても変化を求められています。高齢化・少子化によって、看護人材の確保も大きな課題となっております。医療の世界では、他の分野同様に、AIやIoTを活用したデジタル化が進んでおりますが、患者とその家族に温もりを届けるという、看護職の役割を忘れることはできません。

看護は、生活と命を繋ぐことのできる尊い職業です。今年も、患者を中心とする多様な看護のあり方を常に考え、看護に誇りを持てる職場環境の整備に尽力して参りますので、忌たないご指導を何卒よろしくお願い申し上げます。

皆さまのご健勝と貴連盟のご発展を心よりお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。



衆議院議員 木村 やよい

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、新たな元号・令和の時代が始まり、9月の第4次安倍第2次改造内閣では総務大臣政務官を拝命した、忘れられない年となりました。

私の総務省での担当は、情報通信、放送行政、郵政行政。人と人を、人とモノを、電波や光ケーブルや様々な手段を使って「つなげる」仕事です。

これまでの厚生労働行政とは違う分野での就任となり、身の引き締まる思いがいたします。副大臣、政務官ともに高市早苗大臣を支え、総務行政に力を尽くしてまいります。

人口減少社会のわが国の社会保障を持続可能なものにしていくために、情報技術の活用が期待されます。情報弱者とされる高齢者や障害のある方たちが取り残されることなく、活躍できる、そんな社会の実現に努めるのが私の役割だと思っています。

総務省ホームページ、動画チャンネルで日々の活動をご覧いただけます。

これからも女性、母親、看護職の視点を生かし、「誰もがより健康で活躍できる社会」の実現に向け、皆さまのご期待と信頼に応えてまいります。

何よりも、光の当たるところにあなたかな光を当てる政治を忘れずに、看護の代表の一人として、看護と政治をつなぐ役割を果たしてまいります。

本年も、引き続きご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



参議院議員  
自民党文部科学部会長

たかがい恵美子

年頭にあたり、謹んで初春のお慶びを申し上げます。長崎県看護連盟の皆様におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。平成から令和への御代がわりを経て今夏には東京オリンピック・パラリンピックが開催されるとあって、日本はいま世界で最も注目される国となっています。国政においては、国民に寄り添う豊かな成熟社会を実現するための2040年に向けた新たな社会保障制度設計の議論が進められています。これからの看護職が地域の様々な場所で個性と専門性を活かして活躍できるよう制度整備することや、貴重な看護人材を育てる基礎教育の充実と一人ひとりの生涯を通じたキャリア形成支援の仕組みを整えていくことなど、私たちが取り組むべき政策課題は無限にあります。看護の可能性のさらなる拡がりを信じ、各々の笑顔が輝く未来に向けて、お互い支え合い力を合わせてがんばりましょう。皆様のご健勝とご繁栄を心から願い、幸多き一年となることを祈念申し上げ、ご挨拶といたします。本年もよろしくお願いいたします。



参議院議員  
厚生労働委員会理事  
自民党副幹事長

石田 まさひろ

長崎県看護連盟の皆様、あけましておめでとうございます。今年は夏のオリンピックが56年ぶりに日本にやってくる大きな年。2020年がすばらしき一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

昨年は皆様のお力を頂き、二期目の当選を果たすことができました。選挙期間中は17日間で47都道府県を回らせていただき、皆様から温かな声援を頂戴しました。一票一票の重みをしっかり感じながら、自らの行動で皆様の期待に添えていく所存です。

昨年9月には、参議院において二度目の厚生労働委員会筆頭理事を拝命いたしました。他の会派（野党）との調整を行う、緊張感の高い役割を再び務めることができるのは、身の引き締まる思いです。議論をしっかりと前に進めていけるよう、鋭意、力を尽くしてまいります。

また、自民党においては副幹事長という役割も拝命しました。党の運営には欠かせないポジションですので、しっかりと努めて参ります。

そして当選直後から再び全国を飛び回っております。皆様からの温かいお言葉、そして「現場の声」は私の活動の原点です。その声を国政に届け、看護職が「今日も良い看護ができた!」と実感できる環境づくりのために、この六年間、再び尽力してまいります。

看護職の皆様、現場の皆様と共に手を携え活動してまいりますので、今年もどうぞよろしくお願いいたします。

# 令和元年度長崎県看護連盟 フォローアップ研修会

日 時：令和元年10月3日(木) 14:00~16:15

場 所：ながさき看護センター

参加者：121名

## テーマ

「安全・安心な看護・働きやすい職場環境実現へ向けて看護連盟会員個々の役割とは」

## ねらい

看護と政治について学び、連盟会員としての私にできることがわかる

## 基調講演

1. 「誰のための、何のための看護連盟？政治の仕組みを知って、看護師としてできることを考えよう」  
長崎県看護連盟幹事 山添由紀子
2. 「看護師、連盟会員として行った青年部活動」  
青年部副部長 濱口 哲平

本研修は前年度の新入会者研修参加者に対し、連盟会員としての自覚や政治に対する学びを確認する目的で毎年実施しています。基調講演では、連盟の歩みを通し看護と政治とのつながり、看護連盟の必要性や、連盟会員としての役割について講演が行われました。その後グループワークが行われ、活発な意見交換ができました。テーマ別で出た意見の一部を紹介します。

### 1. 基調講演を聴いて学んだこと

- ・看護師の政治家がいなくて現場の意見が国会で通らない ・連盟会員として政治に関心を持ち、選挙に参加する
- ・過去の看護師の政治家の功績が今の現場に繋がっていることがわかった ・研修で得た知識を周囲に伝える
- ・現場の声、職場での問題を代表に届けることで、私たちの職場環境は守られる
- ・看護協会は政策提言、看護連盟は、政治活動を行う団体で、その役割が分かった

### 2. これからの課題、解決するための具体策

(職場で困っていることや悩みなど)

- ・人員不足 ・業務多忙 残業が多い
- ・託児所に定員オーバーで入所できない
- ・事務業務が多い
- ・認知症などの患者対応に時間を取られる

(解決するための具体策)

- ・看護と政治の仕組みを知る
- ・看護師の議員へ投票する
- ・看護連盟で職場環境を変える
- ・自施設で業務改善に取り組む



## 令和元年度 長崎県県政・長崎市市政報告会

日 時：令和元年12月7日(土) 10:00~12:00

場 所：長崎県看護協会（長崎会館）5階研修室

参加者：70名



長崎県看護連盟は、毎年自由民主党党員の加入を続けています。そのため、県・市の自民党議員の先生方がどのような活動をされているのか知るための報告会を開催しています。今回参加の県議14名、長崎市議7名の先生から、それぞれに活動報告を受けました。先生方の意見として、議員は地域住民の代弁者であるからどんどん意見を届けてほしい、そのことが長崎県の発展につながるという話がありました。意見交換では、3名の連盟の代表者がそれぞれの立場で、現状報告を行いました。

### 1. 教育の現場から、看護の基礎教育について



島原市医師会看護学校副校長  
岩崎美千子

### 2. 看護の視点より、地域での問題提供



青年部副部長  
小川正臣

### 3. 急性期病院の臨床が抱える問題について



日本赤十字社長崎原爆病院副看護部長  
谷尾佐知子

## 令和元年度第2回病棟リーダー・施設連絡員研修会

日 時：令和元年12月8日(日) 13:30～16:00  
場 所：ながさき看護センター 4階大会議室  
対象者：病棟リーダー、施設連絡員、新任支部長、  
看護管理者  
参加者：168名

ねらい

1. 各担当の役割を認識し、自律した連盟活動ができる
2. 第25回参議院選挙活動を振り返り、自分の役割と課題を明確にでき、今後の活動(次期選挙)に活かすことができる
3. 看護連盟活動を理解し、その必要性をスタッフへ説明でき組織強化・拡大を図る事ができる

(話題提供)

1. 支部長の熱意が伝わった。施設連絡員、リーダーの活動成果



県北地区第2支部支部長  
坂口広美

2. 1支部1施設での結束力について



県央地区第2支部支部長  
古川留美子

3. 青年部・リーダーとして施設内活動を通して見えてきた課題



青年部副部長  
小川正臣

4. 看護連盟活動における看護管理者としての役割



北松中央病院看護部長  
前田さとみ

「グループワークの意見」

1. リーダーとして期日前投票の声掛けやポスター掲示を実施したが、全体に浸透したか疑問
2. 発言力のあるスタッフがリーダーになると効果的
3. 研修で連盟の必要性がわかった。研修内容の伝達が必要
4. リーダー会をしていない施設は連盟に対する意識が低い
5. 議員の活動を知ってもらい、直接会って話を聞き体感してもらうことは効果がある

## 九州ブロック看護管理者等政策セミナーに参加して

日時：令和元年11月23日(土)・24日(日)

場所：鹿児島東急 REI ホテル

対象：施設代表者、看護管理者 等

ねらい

1. 連盟活動を理解し組織強化、拡大を図り、自律した組織、会員を育成する。
2. 現場の問題を的確に政策課題として捉え、解決に結びつけるための政策提言ができる。看護管理者等の政治への関心を高める。

看護連盟主催の九州ブロック看護管理者等政策セミナーが開催されました。

九州圏内の参加者62名のうち、長崎は久米連盟会長を初め看護協会・看護管理者等計10名でした。

1日目は講義Ⅰ「日本看護協会の看護政策について」(日本看護協会鎌田常任理事) 講義Ⅱ「医療政策の動向と課題」(政策研究大学院大学島崎教授) 等があり、高齢多死少子化社会で人手不足は加速し医療介護は大きな役割を担うことになる。看護職の自立・役割拡大や働き続けられる環境づくりを政策に繋げていかなければならないことをあらためて感じました。

2日目は講義Ⅰ「看護の未来のために」(日本看護連盟富田副会長)、講義Ⅱ「看護業務へのICT、AI導入の可能性」(鹿児島大学医療情報部宇都部長) があり看護管理者の考えは組織を変える事や未来に向けた効率よい看護



業務や記録について学びを深くしました。参議院の石田議員や高階議員も参加され「ベッドサイドから政治を変える」という提言通りの国政での活動報告を聞き意見交換を行う機会もありました。その後、職域別に分かれ「看護政策を実現するために」というテーマでグループワークを行いました。各施設での問題は多岐にわたり、政策に結び付ける具体策は提言できずに終わりました。看護連盟の目的に沿えたか否かは心残りでしたが、施設代表者・看護管理者の政治への関心を深める事はできたと思います。

長崎県看護協会副会長 上田 光子

# 看護連盟 青年部だより

## 新年あけましておめでとうございます！！



現在、長崎県看護連盟青年部は35名で活動しています。

2020年も頑張っていきますのでよろしくお願いします！！

### 県南地区



県南地区は、8施設10名で活動しています。今年の参議院議員選挙後より交代となった部員もあり、フレッシュな風が吹いています。看護連盟というと、政治活動や選挙活動などのイメージがあり敬遠してしまいがちですが、自分たちの働く環境をより良いものにしていくためにはとても必要な活動です。私たちと同世代の会員の皆さんを、今後いかに引き寄せることができるか、乞うご期待です！

子年は新しい運気のサイクルの始まりと言われています。県央地区の青年部は新しく加入したメンバーが多く、まだまだ未熟な部分もありますが、看護や政治に対する考え方や働きを大事にし、私たち県央地区青年部から長崎県の看護に新しい風を吹かせられるよう一体となって頑張っていきます。皆さんに看護連盟の働きを知っていただけるよう、ねずみのように小さいことからコツコツと努力していきますので、今年もどうぞよろしくお願いします！！

### 県央地区



明けましておめでとうございます。

県北青年部です。

現在、県幹事と共に10名で楽しく活動しています。昨年の参議院議員選挙の際は、会員・非会員の皆様にご協力をいただきありがとうございました。青年部の主な活動はキャラバン活動です。各病院や施設で看護連盟についてや現職の国会議員の紹介などについてお話をしています。今年も1人でも多くの連盟会員が増えるように働きかけていきたいと思っています。

### 県北地区



上五島青年部の前田彩乃と望月美里を含め4人で活動しております。地域上なかなか研修に参加する機会が少ないですが二人の抱負として「看護政策に目を向け、看護連盟の活動に積極的に参加をする仲間を増やしていくように働きかけます！」をモットーに頑張っていきたいと思っています。

### 離島地区





# みてみてmy病院

第25回

医療法人慈恵会 小江原中央病院

当院は、長崎市西部地区に位置し地域医療の一端を担っています。

周辺は、木々の緑に囲まれた自然豊かな環境の中にあります。

令和元年度は、病院創設67年目を迎えました。結核療養所として開設した歴史がありますが、現在は、地域包括ケアシステムの一端を担うことを念頭に「高齢者医療の充実」を使命として、地域の皆様に望まれる医療・看護を具現化することを目標に職員が丸となり邁進しています。

病床数149床、一般病棟46床（内10床が地域包括ケア病床療養病棟59床（入院基本料1）、地域包括ケア病棟44床のケアミック



病院外観

ス型の施設です。内科では心不全や糖尿病、消化器疾患など、整形外科では周術期やリハビリテーション、更に慢性期状態の患者に対する医療・看護を幅広く展開しています。

当院の理念は、“患者さんの身になって思いやりのある医療を”地域の方々のために提供することを掲げています。その実現に向けて看護部では、職員一人一人の人的成長に力を注ぎ、誰に対しても心のこもった看護の提供で患者さんにも満足していただき、職員も輝いて働くことができる環境作りに力を入れています。

平成28年度から取り組みを開始した「看護職のWLB推進活動」では、沢山の看護師が集まることを期待して様々な活動を行いました。現在は、働き方改革の推進に向けて賃金体系、超過勤務、有給休暇取得の改善に向けて取り組みを進めています。施設の建物は古く、ハード面においては決して充実している病院ではありませんが、一人一人の職員が人を大切にする気持ちと専門職者としての役割が果たせるように努力を積みソフト面の充実により、地域の皆様に選ばれ喜ばれ続けることができる病院である事を目指していきます。

文責 看護部長 山口 ひとみ



糖尿病教室



認知症ケアサポートチーム主催の交流会



BBQ 大会



地域住民を交えた講習会や催し物

my 病院・施設を紹介してみませんか？

「これが自慢！うちならでは！頑張ってます！！」なんでも OK ですよ。

応募方法はこちら → [hyk.renmei@kangorenmei-nagasaki.jp](mailto:hyk.renmei@kangorenmei-nagasaki.jp) または Fax (0957) 49-8066

たくさんの応募  
お待ちしております。



# 石田まさひろ参議院議員来崎

令和1年10月26日(土)

この度の第25回参議院選挙で見事当選された石田議員が長崎県の選挙活動に対し、お礼の為に来崎されました。

国政報告の中で高齢者の概念の変化や幸福寿命を延ばすための看護の役割、医療安全のためのリスクの分散などについて約30分間話をお聴きすることができました。そ

の中で個々人が看護の質を上げることが非常に大切だと強調されました。次に、南島原の松本市長が石田議員に精神障害者施策に係わる要望書を提出されました。このことは我々の看護職の代表が世間から高く評価されている結果と考えます。



## 2019年度都道府県別会議



日 時：2019年11月15日(金) 10:00～12:00

会 場：長崎県看護協会（長崎会館）5階研修室

出席者：36名（本部1名、県役員12名、支部長17名、青年部6名）

今回の県別会議は、先日実施された第25回参議院選挙を総括し、次回3年後の第26回参議院選挙に生かすことが最大のテーマで開催されました。日本看護連盟常任幹事の長沢恵美子氏の出席の元、本部から今回の選挙戦の全国的な傾向や、長崎県の選挙協力に対するお礼がありました。本県からも会長や各地区の支部長、青年部が

選挙活動の報告を行い、第26回の選挙に向けて熱い討議が行われました。

課題として、1. 期日前投票の増加 2. 後援会名簿の信頼性を高める 3. 若者の選挙行動の推進 4. 国公立病院の連盟への協力依頼 5. 各施設の管理者の理解を深める など多くの意見交換ができたと考えます。この会議で出た意見を参考に選挙の年だけでなく、3年間の活動が実を結ぶと実感しました。



### 研修案内

#### ●第2回看護管理者研修会

日時：令和2年2月22日(土) 14:00～16:00

場所：ながさき看護センター4階大会議室

#### ●第2回新入会者研修会

日時：令和2年2月29日(土) 13:30～15:30

場所：ながさき看護センター4階大会議室

### 連盟会員募集

現在、来年度の連盟会員を募集しています。看護連盟に入会し、職場の声を国政に反映させましょう！！

### 編集後記

あけましておめでとうございます。

昨年参議院選を振り返る時、選挙の年だけでなく日々の活動の重要性を感じています。

令和初の新年を迎え、長崎県看護連盟の活動を、会員の皆様に分かりやすく又、興味を持って読んでいただける内容に役員一同努力していきたいと思います。